

地方分権と道州制に関する日仏シンポジウム

—中央集権から地方分権へ 「国のかたち」を考える—

期 日 2007年12月27日（木）

10:00～17:00

主 催 広島大学道州制研究会

後 援 広島県

中国経済連合会

広島経済同友会

会 場 ANAクラウンプラザホテル広島

（広島全日空ホテルは、2007年12月3日に
名称変更します。）

フランスは、1980年代以降、官選知事の廃止と自治体としての「州」の設置により、中央集権型システムから地方分権型社会へと転換しようとしています。しかし、ここでは日本でも予想される各種の困難に遭遇しています。

こうしたフランスの試みと経験、特に地方圏への影響を学ぶことにより、わが国における「国のかたち」を考えるとともに、中国地方のこれからについて議論したいと思います。

多数の方々のご来場と討論への参加をお待ちいたしております。

ゲストスピーカー

ヴァンサン・オフマン-マルチノ（*Vincent HOFFMANN-MARTINOT*）氏

国立ボルドー政治大学教授。2007年9月から学長。比較地方政治。近著に『フランスとドイツにおける国と自治体の改革』（共著、2006年）。幼少期より合気道に親しむ。

ジャック・パラール（*Jacques PALARD*）氏

国立ボルドー政治大学教授、同大学研究部長。地方自治行政、政治と宗教。近著に『州とその領域—アキテーヌ州における開発の戦略とアクター—』（共著、2006年）。休暇時にはカトリックの聖地巡礼。

大山礼子氏

駒澤大学教授。国会図書館勤務などを経て2003年から現職。行政学、比較議会制度。第29次地方制度調査会委員。主著として『比較議会政治論』（岩波書店、2003年）、『フランスの政治制度』（東信堂、2006年）。

鎌田 司氏

共同通信社編集委員兼論説委員。道州制ビジョン懇談会メンバー、自治・分権ジャーナリストの会メンバー。共著に『フランスの地方分権改革』（日本評論社、2005年）。

解説と討論者

進行役

川崎信文／広島大学大学院社会科学部研究科科長、広島大学道州制研究会代表

事務局

広島大学地域経済システム研究センター

プログラム

9:30 受付

10:00 開会

浅原利正 広島大学長
山本一隆 広島経済同友会代表幹事

10:20 基調講演1

講師 ヴァンサン・オフマン-マルチノ氏
演題 現代フランスにおける地方分権化の社会・経済・政治的背景と
小規模町村の残存

11:50 ランチタイム

13:30 基調講演2

講師 ジャック・パラール氏
演題 フランスにおける県、州および国の地方機関の間の政治・行政的關係

15:00 コーヒーブレイク

15:15 解説、主要論点整理および意見交換

解説 大山礼子氏
鎌田 司 氏
討論 来場者の方々
回答 ヴァンサン・オフマン-マルチノ氏
ジャック・パラール氏
進行 川崎信文

17:00 閉会

【申込方法】

- 別添の申込用紙に記入して2007年12月17日（月）までに電子メールまたはfaxでお申込みください。入場無料、定員は先着120人程度です。
- 申込用紙は下記サイトからダウンロードすることもできます。